

宮津市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

宮津の新たな学び創造事業

事業の経過・背景・課題

急激に変化する時代の中で、子どもたちが生き生きとした学びが展開できるよう、ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」、また異なる考え方を組み合わせ、より良い学びを生み出す「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。

こうした中、本市では1人1台タブレット端末の導入から丸3年が経過し、各学校とも一定の活用は図られているなかで、今後は、反転学習など授業そのものの改革に取り組むため、授業支援ツールの導入や授業改善に向けた更なる実践研究が必要となっている。

取組内容

交付実績額： 1,077 千円

ICT活用やコミュニケーション教育の導入による対話的で深い学びの実現

- 非認知能力の育成・向上を目指した演劇的手法の活用による
コミュニケーション教育の実施
- 授業改善に向けたICT活用の実践研究、授業支援ツール等の導入
- 旧PC教室を利用した学びの深化ラボ（ICT活用拠点）の設置



令和6年4月～：コミュニケーション教育の実施（宮津中学校・宮津小学校）

令和6年4月～：学びの深化プロジェクト（チームgarapagos）研修会等の実施

令和6年4月～：授業支援ツールロイロノート、スタイルスペンの活用、学びの深化ラボの活用と横展開

事業の成果・今後の展望等

- ・演劇的手法を活用したコミュニケーション教育をモデル的に実施することにより、児童生徒の非認知能力の育成を図り、他者との対話への関心・意欲の向上につながった。
- ・ロイロノート等の授業支援ツールの導入や整備したICT活用拠点の活用により、児童生徒が互いに意見を共有したり、協働で編集作業をするなど、対話的で深い学びを実現することができた。
- ・コミュニケーション教育の実施を学期毎に拡充し、教員の授業スキルを高めることにより他校への横展開につなげる。
- ・引き続きICTを活用した授業改善に向け、授業支援ツールの活用や実践研究に取り組む。

問い合わせ先

宮津市教育委員会学校教育課（0772-45-1641）